

一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、8日、9日、10日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

伊藤勝美（公明党）

総合防災対策について

問 避難所施設でのエコノミー症候群の防止対策をどう考えるか。

答 避難所の床を畳敷きにする。1人当りの空間を多くする。避難生活者のコミュニティを図ることが重要だと思う。

問 耐震改修が進まない中で、簡易耐震シエルターが最近開発されたが、助成制度を作れないか。



防災訓練

答 安価な改修方法として有効と思われる。今後は、啓発方法と助成制度を検討したい。

問 防災訓練を、冬季に実施するつもりはないか。

答 冬季での対応や経験も必要と思うので、参加団体や関係機関との調整を行いたい。

- その他の質問
- 1 緊急地震速報受信装置
 - 2 ボランティア支援本部
 - 3 携帯カメラの活用
 - 4 水防計画の見直し

松本昌成（公明党）

財政健全化比率について

問 決算に関する財政指標として、健全化判断比率を算定することになったが、結果をどう捉えるか。

答 4つの財政指標と公営企業の資金不足比率は、すべて基準値内であった。財政健全化計画に、それぞれ目標値を設定し、改善に向け努力していく。

問 目標値の達成状況とその可能性はどうか。

答 人件費の増加と借入金償還が原因で、経常収支比率等が目標値を達成していない。毎年検証を行い、予算編成に活用していく。

雇用促進住宅の譲渡・廃止問題

問 今年、拾石住宅が廃止決定されたと聞くが、市が購入する予定はあるか。

答 築38年で使用期間が限られること、老朽化による維持費増など問題は多いが、売却価格等条件提示があれば検討していく。

大向正義（未来の会）

蒲郡市医師会の訴訟について

問 現在までに2回開催された公判内容と今後の予定について伺う。

答 第1回公判は、訴状等の陳述がされた。第2回公判では、15年度実績額の算出経緯を記載した書面を提出した。次回は10月15

保健医療センター



日だが、医師会側から6年分の経費の提出がされる。市の実施する人間ドック事業について

問 最近の赤字状況はどうか。その赤字をゼロにするために市内の民間医療機関や医師会に事業を任せざるべきではないか。

答 過去5年間の累積赤字は約4億2千万円である。民間医療機関は申出の時点で考えるが、医師会直営は打診してみたい。

問 事業廃止するための議員立法を考えているが、市の判断で廃止はあるか。